





カラー:米空軍の F-15 近況スナップ OC 会 特 集 会 米海軍の "新しい星" F-18 戦闘機 陸軍航空工廠の戦訓改修機シリーズ① LA

°78

1

米空軍のF-15イーグル USAF F-15 EAGLES











ルーク基地の第58戦術訓練連隊 (58th TTW) 第4461戦術戦闘訓練 飛行隊 (4461st TFTS) 所属のTF-15A。 TF-15A of 4461st TFTS of 58th TTW, Luke AFB, Ariz.

(Photo by Y. "Jake" Yamada

(Photo by Y. "Jake" Yamada)

着陸する58th TTW所属のTF-I5A。グレイの明暗による 迷彩速装が施してある。



PF-15A of diffic TFTS of 59th TTW. commubaged in a bright/Herk gray achiems, about to land.







個体上部のスピードブレーキを開き、ルーク基地に意味する58thで TWM6's) TF' S所属のF-16A。 第-16A of Miller TFTS。Now the speed brake as opened.

(Photo by Y. "Jake" Yearste')



このページは空母に向け厚木基地を離陸する。第 211 顧 開飛行隊(VF-211)所属のF-14A トムキャット。

空母コンステレーションの艦載機

CARRIER AIRCRAFT OF USS CV64 CONSTELLATION





のる第21対潜飛行隊(VS-21)所属のS-3Aバイキング。
S-3A Viking of VS-21 aboard USS CV/64 CONSTELLATION、
Yokosuka NS、October 1977.



のA-7EコルセアⅡ。

△A-7E Corsair II of VA-147

マ横須賀基地に入港したコンステレーションの前部飛行 甲板に並ぶ艦載機群。



スウェーデン空軍機――②

SWEDEN AF AIRCRAFT







(Photo by Frank B. Mormillo)

このページは迷野塗装を施し、戦闘訓練で仮想敵機として使用されている第13司会部整備飛行隊(H & MS-13)所属のTA-4F。

エルトロ基地の航空機

MCAS EL TORO & ITS AIRCRAFT





A-GE

ΔA-6E of VMA (AW)-242, commander's plane,

マフライトラインに並ぶVMA-311所属のA-4M。 VA-4M Skyhawks of VMA-311 "Tomcats".

(Photo by Frank B. Mormillo)



アエルマッキMB339

AERMACCI M.B.339



ロックウェル・インターナショナルXFV-12A

ROCKWELL INTERNATIONAL XFV-12A



去る8月26日、オハイオ州にあるロックウェル・インターナショルのコロンバス工場でロールアウトした、オーヴォント・ウイン VSTOL 研究機 XFV-12A。

Augmented Wing VSTOL Experimental Plane, XFV-12A rolled out at Rockwell International Works, Columbus, Ohio., 26 August 1977.



米建国200年記念塗装の航空機

△第126戦闘飛行隊(VF-126)所属のTA-4J。 △TA-4J of VF-126 マ空母エンタープライズに搭載されている。第 196 攻 飛行隊(VA-196)所属のA-6A。ラダーに76と書き入り ている。手前はVF-2のF-14A。

▼A-6A OF VA-196 and F-14A of VF-2 aboard USS CVA65 ENTERPRISE





ロールアウトした ロックウェル・インターナショナル XFV-12A

XFV-12A TECHNOLOGY PROTOTYPE ROLLED OUT AT ROCKWELL INTERNATIONAL





米海軍とロックウェル・インターナショナルで開発している。オーグメント・ウイング方式のV/STDL戦闘機XFV-IZAの1号機が、去る8月26日、オハイオ州のコロンバス工場でロールアウトした。同工場で低速地上テストののち、スーパーグッピイに積まれてパージニア州のNASAラングレイの研究センター

に運ばれ、月蘑蛙計画のさいに使われた架台に吊り下げて VTOLモードの拘索 飛行テストが行なわれる。同機は Z機が試作されることになっており、 2 号機 もコロンバス工場で製作に入っているが、予算の関係で完成するのは 1 号機の テストの結果をみてからといわれている。 The Navy/Rockwell International developed Augmented Wing V/STOL Fighter XFV-12A was rolled out on 26 August, 1977, at Columbus, Ohio. The prototype will later be brought to NASA Laugley Research Center to get flight tests.





イタリア空軍の新練習機 マッキMB339

MACCHI MB339 FOR ITALIAN AF (Photo by Rolls Royce)

The Macchi MB 339, equipped with the Rolls-Royce Viper turboget, is being built at Aeronautica Macchi's facilities in Verse. North Italy. It made its public debut in the Farnborough Air Show and also participated in the 1977 Paris Show. Two prototypes have been built, and six further pre-production models will be built, three of which will go to the Italian



イタリア空軍の新型練習機 マッキMB339は、イタリア のアエロノーティカ・マッ キ社の工場で現在生産され ている。初飛行は昨年8月 に行なわれており、イギリ スで開催されたファーンボ ロー航空ショーで初公開され、今年のパリ航空ショー にも出展された。現在2機 のプロトタイプが完成飛行 テストに使われているが、 さらに6機の量産先行型が 近く完成の予定で、そのう 53機はプロトタイプと共 に飛行テストに加わり、弦 り3機はイタリア空軍で評 価テストに使われる。なお 同機はロールス・ロイスの バイバー・ターボジェット エンジンの最新型 600 シリ 一スを装備している。



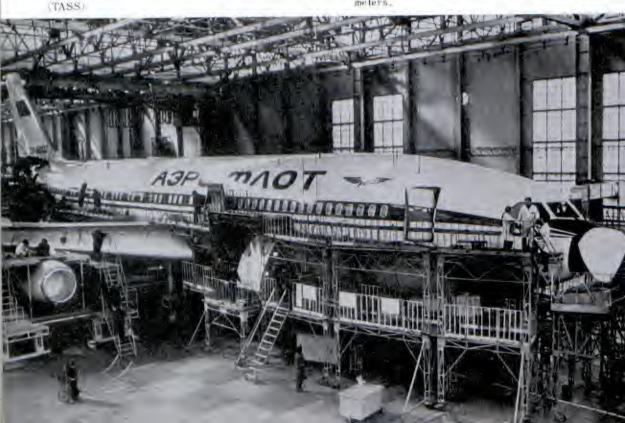
ソ連のワイドボディ機12-86

ソ連のワイドホディ旅客機の1番手として、前回のパリ 航空ショーで西側に初公開されたイリューシン1ℓ-86。 上はボロニツの生産工場で完成、ロールアワトするとこ る。下は同じく工場内の最終組立てショップ。同機の旅 客数は350人、巡航高度は9,000-10,000mで時速 900-950Kmで飛ぶ。

(TASS)

SOVIET AEROBUS IL-86

(Top :- The Soviet wide-bodied transport, IL-86, manufactured at the Aircraft Works, in Voronezh. (Bottom -Assembly shop in the works. The new plane will take almard 350 passengers, its speed is 900-950 km/h, flight altitude is 9,000-10,000 meters.





コミュータ機ショート330

COMMUTER AIRCRAFT SHORTS 330

世界で初めてのワイドボディ・タイプのコミュータ機ジ ョート330は、現在アメリカに7機、カナダに3機、西ド イツに 2 機の計12機が就航しており、約16万人の乗客を 連んでいる。乗客数は30席、エアコン付きキャビンで、 ギャレイ装備の豪華で騒音の解かさが売りもののコミュ ータ機である。

The world's first wide-hodied commuter aircraft, Shorts 330, has carried 160,000 passengers in its first year service.

ヤコブレフ Yax-40 をもとに大型化したアエロマロート 用の新型族客機Yak-42。1974年に初めて西側に公表され たが、写真はサラトフ航空機工場の最終組立てショップ。 同機はまもなく量産に入る。

Yak-42 mirliner in the assembly shop of the SARATOV Aircraft Factory, The 120-man airliner has better flying qualities and greater speed than that of Yak-40.

ヤコブレフ Yak-42

TASS





BAC-111-500

フィリピン航空に装備されたBAC-ill-500。 500型はシ リース300/400のストレッチ型で、乗客数は97-119人。 現用の「「の中では最新型である」

リンクス多用途へりコブタ

テモ飛行で、デンマータ海車の小型海防艦ペスキテレン に着艦するウエストテント / アエロスパシャル・リンク ス多用達ヘリコブタ。今年初めコペンハーゲン沖でのス ナップ。荒海での小型艦船からの運用をねらって開発さ れたもので、英海軍にリンケスHAS2 が30機装備、英陸 軍む AHIを63機発達している。

The series 300,400 stretched model BAC-111-500 is the latest model of the BAU-111 family.

LYNX MULTI-PURPOSE HELICOPTER

A multi-purpose paval Lynx hellcopter lands on the small flight deck of the Royal Danish Navy's fishery protection vessel. Beskytteren, during a demonstration off Copenhagen. Designed to operate from small ships in the rough weather, the Lynx has already gone into service with the British and Dutch navies.





空母コンステレーションの艦載機

USS CV-64 CONSTELLATION & ITS AIRCRAFT















エルトロ米海兵隊航空基地の翼

AIRCRAFT STATIONED AT MCAS EL TORO Photos by F.B.Mormil







a陸する第2電子戦攻撃飛行跡 (VMAQ-2) 所属の EA -6A。 EA-6A of VMAQ-2 touches the ground.





エルトロ基地上空を飛行するVMFA-53)所属のF-4N。

F-4N of VMFA-531 in flight over MCAS El Toro.



VMFA-112所属のF-4N。 F-14A Tomeat of VF-211





即機飛行を終え、ドラッグシュートを開いて循陸したV MEA-314所属のF-4N。



PHOTO NEWS



The U.S. Coast Guard has just received one of the four HC-130Hs ordered in use for patrol in the recently established 200-mile fishing waters.



去る10月16日、陸上自衛隊木更津駐とん地において第7 回木更津航空祭が行なわれた。当日は各種航空機の展示 や訓練展示、立体模擬戦などが行なわれた。写真は祝賀 飛行に離陸する第1ヘリコブタ団所属のV-107。 V-107s of 1st Heli. Group, taking off for a celebration flight to fete the 7th Air Festival held at JGSDF Kisarazu Base on 16 October.











CARRIER ATTACK BOMBER RYUSEI (B7A2)





1977年度リリノ・エアレース 《続》

1977 RENO Nataional Championship Air Races (Photo: L.Ohsawa)







先月号につづいて、9月16日から3日間、アメリカのネバダ州リンで開かれた1977年度エアーレースの参加機 今回はAT 6クラスと(ハー(フオミュラー 1) クラスの各機である

米宝河東や英国、カナダモれにおか航空自衛隊など自由 園店国で広く使われた練習機 1-6、SNJのクラスか二のレースに正式に登場したのは 1969年から、機体の改造は制 设されているので、各様とも おい思いのぶ手ならまでのうち してあり、こののひとつ。今回 は17機が参加して、五機がデー 体に進出、レース・ナンバー 41の日、スウンブリ(ニュー ヨーク州フェルスピレ)が優 独した。

(五上)レース+ナンバー2 の() ベックの乗機 (2位), 74 のD デウォル氏の乗機 (6位。 左下も同機), 9のM ウエルス の乗機 「五上バ・インをま かると機 「五下6クラスの決勝 は、「周3マイル(4,8km)を る周するレースである





No. 11 "Hollo II", Pilot: Jim Modes, Los Angeles, Cal-

エアレースの出場機 カラーで見るリノ

(Photo: I. Ohsawa)





RENO Fly IN, 16 18 Sept. 1977. Those of AT 67 and 1XI, classes (Formula I Midgets) are introduced here this month. Showly and elaborate painting is the point of the show. Ralph J. Twombly from New York, Race No. 41, won the competion in the AT 67 class which a total of 17 visiage machines participated in.





を、趣味型のデッドとート カラーでも紹介している二次大戦ドイツ医車機の 接続にしたレース・ナンバーローロサンゼルスのジム・モーデスの乗機。 上上バイロンを まれる2機 後方はカリフォルニア州トルカレイクのディック・サイクスの乗機で、前回 は3位となっているが、今回は人間をいっした 「下、これもバイロンをまれる No.96、ハリ リウッドから変加したマイグ・サコスキイの乗機である





No. 96 "Kolbasa", Pilot: Mike Sukosky, Hollywood, Cal. このペーンと次ページはAT 6 クラスの各機... 機体の過程やマーキングに工夫をこらしているのも、このグラス参加機の特徴である











上 レース・ナンバー40のカリフォルニア州モデスト から影加したスタンナスサの重機、

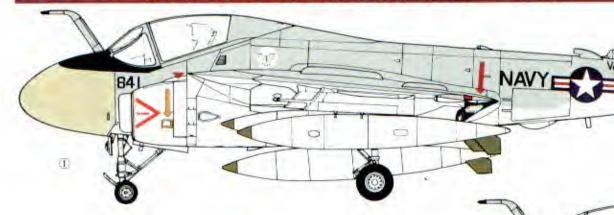
Tと右ベージ写真は「XL(フォミュァーI)の参加機。 前回までフォミュラー1で呼ばれていたこのクラスは、 今回から新しく「メレレインターナショナル・エクスへり メンタル・リミテッド) と称されることになった。すべ す自作の小型機はかりで、今回は13機が参加して7機が 表験に進出した (チ)レーステンパー(6のシェース ナリング。パイロッ

トはガリフォルニアのレイ・コート。 右甲 日位となっ たレース・ナンハー35の "ハンセン・メベシャル" WH-パイロットはトム・サマーズ 右下 5位に入覧し たレース・ナンバーものプロッショPR-2*ボルキャッド" バイロットはホブ・レインセス。1 メレクラスではカリブ ナルニアのドーランスから参加したジョン・バーカー操 級カンニーストリングに 10 トップ・ターキイーが優勝 Lt





CUNZE SANGYO ハイモデリングのための塗装マニュアル



GRUMMAN

A-6

INTRUDER

☆グラマンA-6イントルーダーのマーキング☆ (その1)



(2)

523

プラン・ディン・カラー 配合ガイト ライトガルグレイ インシグニアホワイト 2 % で 4 % 10 / 1 3 % (4) 10 / 1 5 % (1) 96% (1) 96% (1) 1 90% (6) 8 % (1) 1

配合ガイドの見かた

クンゼ・カラーのピンをレイア ウトした混色パターレは、左のナ ンパーかクンゼ・カラーナンバー で、中央の目弧りは混合%を示しているが 報告を混合性を示しても、あまり 重要とはいえない慣々のいう問題とた モデル番楽したの個性という混合比は 音句とお考え難いたい。



- 健国200年記念塗装の第 128 攻撃飛行隊 (VA: 128)所属機
- ② 第151攻撃飛行隊(VA-115) 所属機
- (3) 第95攻擊飛行隊 (VA 95) 所属機



→ 第 121 海兵全天候 攻撃飛行隊 (VMA (A W) 121) 所 属のA-6E。 (Photo: S Onp)



イブルで産業Mr.カラー ハイモデリングのための塗装マニュアル



グラマンA-6イントルーダーの塗装

(その1)

図2 新1.5枚整件では「VA 115」が成内した方式と中に 相機・基本学等は中国の機体があってまるが、重点定置 は無地にでレー・デエローに行めて、当れる 単直に 順の上端や連携集成、形は当時などがある時である。ロー でまる。

図(上 新時以撃行目)(* VA 357575675KA 0D こうおけ と同王と目) 甚らずまご、東西が夏のコーツ。上端の第 ショル別用の格をとは濃いです。 ・お濃しでなってい人されている。。

- シグンゼMcカラー た

限に機、自動車、船、鉄、、キュニの中・中心にもある。ま色がそろっていることと、カローは集から立分のの もカラー、それそれの角角色がデカーでいるが、単年間 の素素に、これら単一模に外のカラーをに対するのと、 「手なかテーの便い方で、たこれはオー・デニューン の代理となりそうなは、10色の「あるお」とか、「同」のか にしても銀行機用とはちょっと載るる主はの同じの別で 用き部分部分ではなりまするみとと、う手はもある。

なね。飛行機用に「この機量として現所では一つか 拍子」でも用にはエアストリセ(ディ・)は「などのか いった新発力中」といわるのでなり、ほどかと成形の 質がはいらないはどに、それぞれ異体値がデモしている。

(イラストと解説・橋本喜久男)



- ◆ 第115攻撃飛行隊 1VA 115) "アラブス" (Araba)所 隊のA-BA
- は A EE. 事 第75攻撃飛行隊(VA 75) サンデイ・バンチャーズ" (Sunday Puname(s))所属の A 6A









未公開写真

日本の艦上爆撃機

西欧の模倣から脱して、わが国独自の航空技術の基礎が確立 された昭和ひとけた変半以降に制式採用された海軍の艦上爆撃 機には、いずれも愛知航空機製である94艦爆、98艦爆、99艦爆 の3種があり、最後の制式機空技廠の彗星がつづく。このうち もっとも活躍したのは日業事変後期から太平洋戦全報に使われ た99艦爆であった。

Type 94 Carrier Bomber. Engine: Kotobuki 2, Mod. 1 (580 hp) or Kotobuki 3 (610 hp). A total of 162 planes were produced by 1937. Noted in operations against ships and military facilities in Shanghai during the Sino-Japanese Incident.

94艦爆



(上)昭和9年12月に制式採用された94式機上爆撃機。ドイツ から購入したハインケルHe50を改造した8試特機をさらに改造 したもので、エンジンは料2型数1(職界580mp)または再3型

(献昇610hp) × 1 。昭和12年まで162機が生産され、空母加賀、 職題に積まれて日華事変の初めに上海地区の艦船や軍事施設の 精法過撃に力を発揮した。





(エ・・エ・・) 昭和11年11月に制式採用された90式機上爆撃。 94式機場のエンジンを光1至(酵昇660hp)に換装、主車輪 パーを取りつけるなど細郎を改修したもの。最大速度は94機 傷の280km。hrから305km。hrとなり、性能は大幅に向上。昭和 15年までに428機が生産され、日華事実に投入された。爆弾は94 機場と同じく250kg = 1または30kg = 2。

The appearance of carrier bombers one after another in and after 1934, such as Aichi-made Type 94 Carrier Bomber (AB-9/DIA1), Type 96 Carrier Bomber (AB-10/DIA2) and Type 99 Carrier Bomber (D3A1-2) and Gugisho-made Carrier Dive Bomber SUISEI (D4Y1-2).

represents Japan's high level of aircraft technology, independent from the Europeans. The Type 99, among others, could maintain the position of Japanese Navy's mainstay bomber throughout the Pacific War.







Type 99 Carrier Bomber, the first modern lowwing carrier bomber for the Japanese Navy.

(上・下・右上)固定脚ではあるが、日本海軍で最初の近代的 な全金属製低翼単葉の艦場である98艦場11型(D3A1)。日季

事変優から実戦に控入され、太平洋戦争の後半まで全戦域にな たって使われているもっとも活躍した日本の機嫌である。





99機機は昭和14年12月の制式採用であるが、それより早く採用された97機技が完全な引込脚であるのに対し、大きな車輪カバーをつけた固定脚。しかし機体の頑丈なことはばつぐんで、故障が少なく、戦闘機にも対抗できる運動性をそなえた当時の操作機嫌であった。生産機数は1,492機。搭數嫌罪は250kg×1または60kg×2。写真左上と上は空母加賀所属機。左下は赤城

の所属機で、昭和16年5 - 8月頃の撮影(写真提供:小海本国雄)。

写具下は海軍が制式採用した最後の機嫌、18試艦機器星の前 身である2式艦値、昭和18年11月、赤道付近上空をラバウルに 向けて飛行中のもの(写真提供:広瀬正吾)。

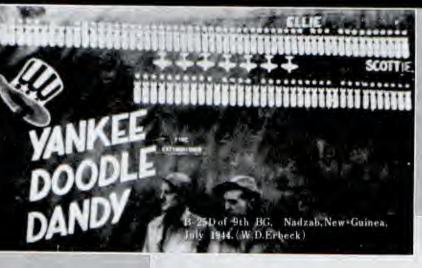
彗星

Type 2 Carrier Reconnaissance Plane, predecessor of Japanese Navy's last carrier bomber "13-Shi Carrier Bomber", in flight over the equator waters, November 1943.



装備機で たどる

米第5空軍戦史®



WINGS OF 5th AIR FORCE

5月号以来中断していた装価機 でたども「未第5空車戦史」をみ たたびおとどけしよう、いずれも 隊員たちのアルバムより借用した 未公開写真である。

(左)第90億撃大隊(90th BG) のなかでもとくに歴戦の日-24日の マーキング。1944年夏、ニューギ ニアのナザブ基地にて撮影。

(右) - れも1944年夏にニューギニアのナザブ基地で選挙 た第90機撃大隊歴歌のB-24 日の1 機。風防のわきに、 との機体に劣らぬ出撃回数を 印している。

【下』これも1944年7月にナ サブ基地で撮影した第34548 W大隊(345th BG)前49948 W中隊(499th BS)のB-25 D。前499中隊は"地嶽のこうも 10 10 (Bats Outa, Hell)の ニックネームを持つ筋隊で、 賃首にこうもりの絵を給いて 出撃した。



B-25D of 499th BS,345th BG,Nadzab July 1944.(Jim Rinehart)





(上) 日本本土上空を飛ぶP-51 Dムスタングの小隊。1945年、ま だ戦闘中のころの撮影で、第35戦 闘大隊 (35th FG) の所属機と 思われる。

(左)前ページ上・中と同じ(ニューギニアのナザブ基地で1944年 夏に撮影した第90歩撃大隊のB-24 D。胴体の可愛い子ちゃんと、 "Pudgy"(大っちょ)の文字のタローズアップ。

(下)1944年秋、ビアク島で撮影 した第345億撃大隊(345th BG) 第498億撃中隊 (498th BS) の 所属機。同中隊のニックネームは 「車"(Falcon) で、機能に置かメディアムグリーンで"車"の絵を画い ていた。





上)1945年仁日本本土上空を飛 行中のF-6D。第71戦衛債務大能 (71st TRG)第110戦術偵察中 版(110th TRS) の所属機であ

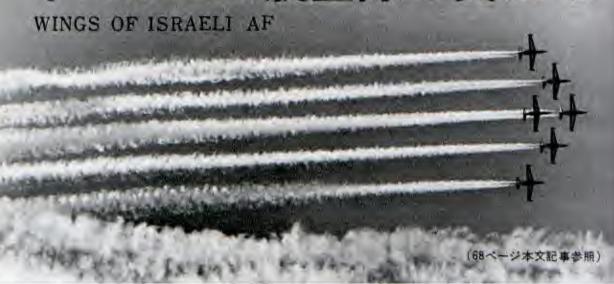
(右)1943年5月ニカの第35戦闘 大樹 (35th FG) 陳39戦闘中隊 (19th FS) 01/17 0 9 1 1 1 5. 前列中央は、トーマスJ.リンチ (Thomas J.hynch) 大射: 前列右 業はケネスで、スパークス(Kenneth C. Sparks)中財で、ともに載り 空軍初期の有名なエース。後方は リンチ大助のP-38Fである。

[下]1943年秋...ニューギニアの ボートモレスヒーで撮影した頭3 48戦闘大隊(348th BG)第341戦 野中隊(841st FS)のP-47D。





イスラエル航空隊の翼たち



[上] イスラエル航空隊でジェット練習機および近接支 機の軽攻撃機として使われているフーガ・マシステール。 ロッド空港のイスラエル・エアクラフト・インダストリ イズ(IAI)でライセンス生産され、82機が装備されて 現在でも80機が在籍している。写真は飛行訓練学校のア クロ・チームの所属機である。





(上)1956年に迎撃用戦闘機 として導入されたダッソー・ ミステール4A。60機が延備 されたが、のちに地上攻撃と 実用訓練部隊に転用され、現 在は練習機として25機が在籍 している。

[右]シュド・ボトール2 攻撃機。1個飛行機が本機で編成され、単座攻撃型の2 A を 20機、複座型の2 N を 4 機装備したが、現在でも 8 機が線置機として使われている。

【左下・下】ダッソー・ウーラガンの代替機として購入したA-4Hスカイホーク。1970年初のまでにA-4Hを70機。 TA-4Hを3機受領したが、その後も追加発注して、現在では250機のスカイホークを候有している。









このページは I A I 社がミラージュIII / 5 の機体を基 にジェネル・エレクトリックは79エンジンを積んで開発 したイスラエル航空域の最新級ジェット戦闘攻撃機タフィール。クフィールの存在は1975年4月に初めて明らか にされたが、その約1年後の1976年6月20日の空軍総念 目には、C 2 と呼ばれるカナード費つきの発達型が公開 された。クフィールC 2 では、エンジン空気取入口侵方 にカナード翼を新設したほか、機首がストレークつきの ものとなって、主翼の外翼前種にソーツースがつけられ ている。これで初期の基本型のクフィールにくらべると、

低速時の運動性や地上攻撃時の安定性は大幅に改善されたとみられている。写真左上と下はクフィールC2、右上は基本型のクフィールと搭載武装。武装は胴体の主翼付根に30mm機関砲2門を固定装備するほか、主翼下4つと胴体下3つのハードポイントに、250-16から3,000-16までの各種爆弾、ロケット弾ボッド、20mmバルカン砲ボッド、赤外組AAMなど計4,000㎏を搭載することができる。イスラエル航空隊では250機のクフィールを装備する計画で、現在引渡しか開始されている。





大量高速輸送時代を迎えて、パンナムでは1966年4月19日。 ほかのエアラインにさきかけてボーイング747ジャンボ・ジェット25機を発注した。747ジャンボの旅客座席数はこれまでのボーイング・エアライナーの約2倍、ダグラスロC-8のストレッチ型・63にくらべても8割がた多い事新的な旅客機。パンナムでは同機を1970年1月21日から大西洋路線に鉄航させた。

写真上はパンナムが1966年に発達したB.747-21 25種のうちの1機(N747PA:製造No. 19639)。同機は1969年3月10日にボーイング社のエバレット工場でロールアウト、1カ月後の4月11日に初発行したが、テスト飛行に使用していたため納入は1年以上遅れて、1970年10月3日にパンナムに引渡された。その後同機は1973年11月21日から75年3月31日まで、エア・ザイールにリースされている。写真下は1970年1月から71年4月1日までパンナムとブラニフ航空のあいだで相互交換フライトに使用されたDC-8-62(N1803:製造No. 45895)。同機は1967年

エアラインの翼

Pan Am's Planes

バン・アメリカン航空 20

8月22日にブラニフ航空に柄入され、"ゴールデンライト"のニックネームがつけられている。

(Photo & Caption: K. Sasano)

Douglas DC 8-62, N1803, No. 45895



ジェット戦闘機の先輩たち

イギリス篇 12



デハビランド・バンバイア

テハビランド・バンバイアはグロスター・ミーティアに次いで英空軍が制式採用した? 各目のジェット戦闘機。ミーティアはかろうじて第二次大戦の戦場にまじあったが、バン パイアが部隊に配備されたのは終賦翌年の1946年からで、その後51年までの5年間、英空 車本土防空部隊の主力戦闘機となった。51年をさかいに、ミーティアの新型MK. B と交代 して第一線を退いたが、第一世代としては革新的な双プーム形式のジェット戦闘機として 記念すべき機体でもある。英空軍のほかに英海軍でも一部装備して空母から発進した世界 最初の絹ジェット戦闘の"架与"を得ており、スイス、オーストラリア、ノルウェー、フ ランスを含めて海外の11カ国空軍で使われている。







(左上) 1943年9月20日 に初飛行したバンパイアの 原型1号機LZ548/G。 尚初は先端のとがった垂直 尾翼であったが。のちに写 真のような角型に改められ た。

【左下】最初の生産型パンパイアFMK.1. 写真の機体はその1号機TG274で、1945年4月20日に初飛行。「上2枚・下】F.MK.1の機体内燃料タンクをふやすなどして改造したF.MK.3。





バンパイアのF.MK. 1 とF.MK. 3 は健間迎撃戦闘機であったが、つづいて生産されたF.B.MK. 5 は、主翼端を1 代 (約50cm) ずつ切断して角型とし、翼下に爆弾。ロケット弾ランチャーを装備するために主翼を頻強した地上攻撃型であった。搭載重量がふえて、翼面荷重が大き(なったために、早い着速にそなえて主脚もロング・ストロークのものに改造されている。F.B.MK. 5 の 1 号機は1844年 6 月23日に初飛行、回季末には英本国の戦闘機部隊のF.MK. 3 に代って就役、西ドイツ駐留の英空軍戦闘機部隊のF.MK. 3 に代って就役、西ドイツ駐留の英空軍戦闘機部隊のモスキートも本機に代えられて、1954年ごろには本機は栗2戦荷空車(2 nd TAC)の主力戦闘攻撃機となっている。1950年12月、シンガボールのデンが飛

行場に駐留する第60スコードロンに萎傷されて、極東方面に初めて展開した英空軍のジェット戦闘機もこのF.B. MK. 5 であった。

「下・右上」 デハビランド・コブリン 2 エンジン(1,406 kg.st) × 1 を装備した F.B.MK. 5。 〔上・右下 2 枚〕 F.B.MK. 5 として生産された 1 機であるが、輸出用の原型としてロールスロイス・ニーン 1 エンジン (2,041 kg.st) に接接した F.B.MK. 51 (VV568)。 ニーン・エンジン 装備機は背部に空気取入口を新設しているが、これは "エレファント・イアー"(象の耳)と呼ばれた。 MK. 51 はこの原型 1 機のみである。





バンパイアの固定武装は機首下に20mm機関窓が4門、操舵はすべて人力操作で、レーダーな どの電子機器の萎備はなく、全金属製ではあるが、操縦席部分にはモスキートでつちかった木 製パルサも利用している。いわばレシブロ・エンジンがジェットに変っただけの要称な第一世

